

平成30年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立本庄小学校)

(1) 学力調査結果から見られた傾向

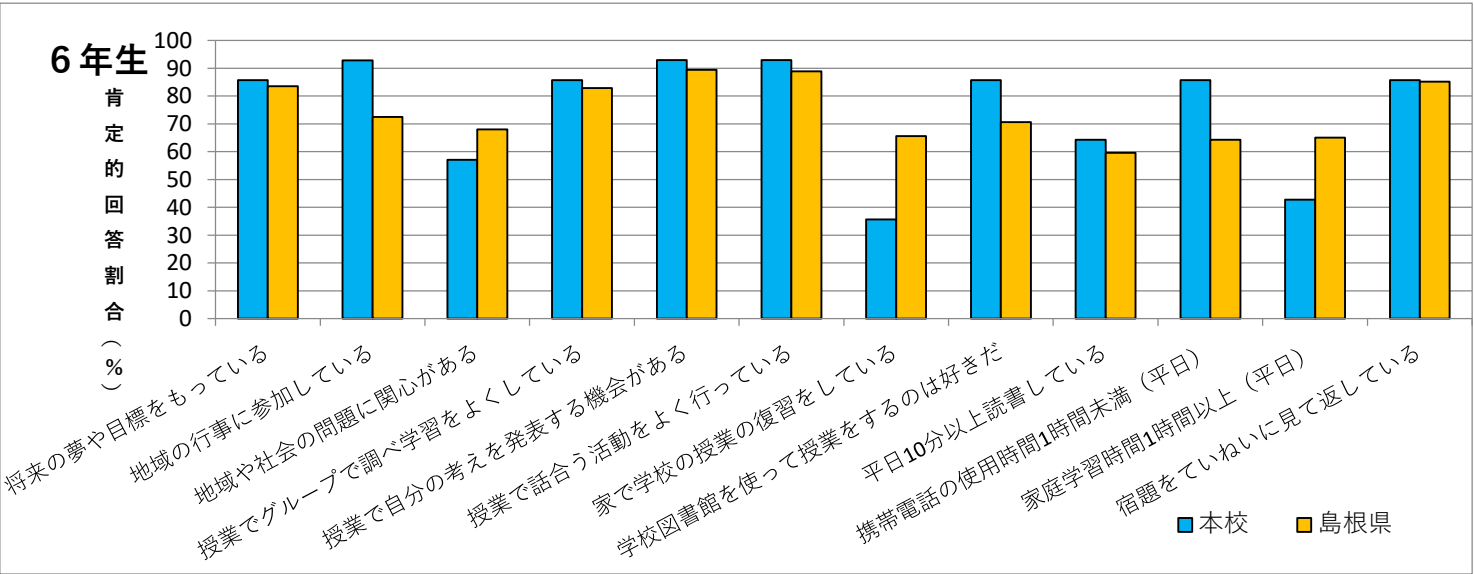
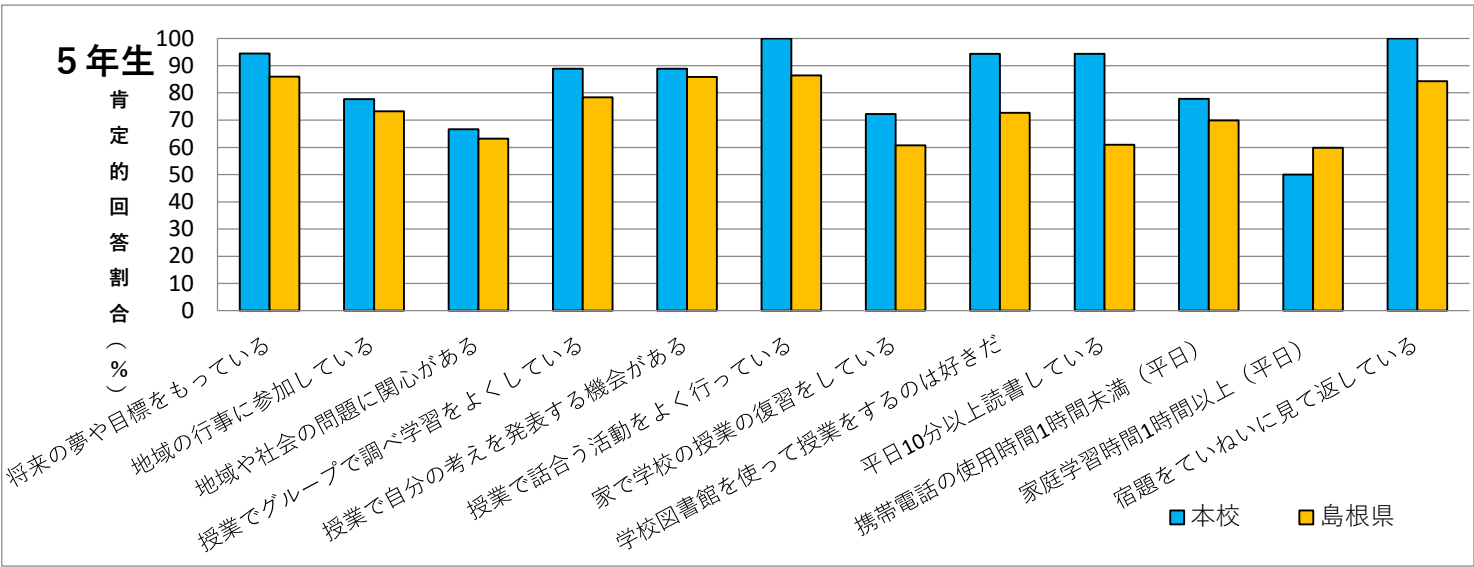
|    |    | 成果と課題(○:成果、●:課題)                                                                                                             | 対策                                                                                                      |
|----|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5年 | 国語 | ○漢字を読んだり書いたりすることの正答率が高く、修飾・被修飾の関係についても県平均を上回っている。<br>○場面についての描写をとらえ、叙述に注意しながら読むことに強みが見られる。<br>●複数の条件がある記述式の問題やローマ字に課題が見られる。  | ・ローマ字については、復習に加え、パソコンを使った学習で習熟を図る。<br>・目的に応じて詳しく書いたり短く書いたりするなど、条件に合わせて書く学習に重点を置いて指導する。                  |
|    | 算数 | ○基礎的な計算問題の正答率が高い。<br>○直方体の面と面の垂直の関係の理解の問題や、小数の乗法の問題の正答率は、県平均を20ポイント以上上回った。<br>●数字で答えるべきところを言葉で答えるなどの、問題文の読み取りや図形の問題に課題が見られる。 | ・問題作りを行ったり、身近で具体的なものに置き換えて考えたりすることを積み重ねる。<br>・図形の単元では、切り取って回転させたり、手や体を使って表現してみたりするなど、様々な視点でとらえられるようにする。 |
| 6年 | 国語 | ○資料をもとにして、情報を整理しながら書くことの正答率は県平均を20ポイント以上上回っている。記述問題の無回答もない。<br>●文章の内容を的確におさえて読んだり、要約したりすることに課題が見られる。                         | ・ローマ字については、復習に加え、パソコンを使った学習で習熟を図る。<br>・様々な単元や教科で要約することを意識的に取り扱う。                                        |
|    | 算数 | ○数と計算、量と測定など、基礎基本の力が定着し、算数の力が全般的に向上している。<br>○小数の乗法についての理解が高い。<br>●数量関係(特に比と割合)の正答率が低い。                                       | ・記述の問題、説明を書く問題を数多くこなす。こうした問題に対して苦手意識を感じている児童に個別指導を行う。<br>・課題が見られた単元や内容について共通理解を図り、授業改善につなげる。            |

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

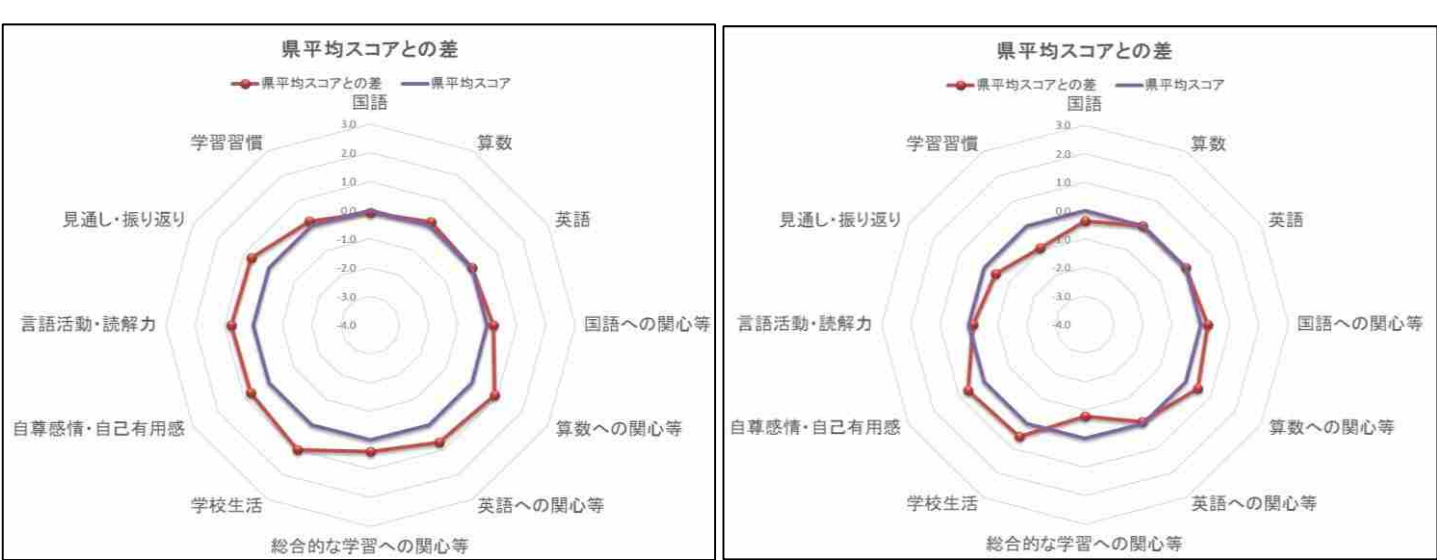
|    |            | 成果と課題(○:成果、●:課題)                                                                                                         | 対策                                                                                                        |
|----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5年 | 授業改善に関わる事項 | ○授業の中で話し合い活動を積極的に行ってきたことが、児童の意識向上につながった。<br>○図書館活用教育の成果が表れ、読書に親しんだり学習に積極的に本を活用したりする習慣がついている。<br>●自分の考えをわかりやすく伝える力の向上。    | ・引き続き、ペア学習やグループ学習の機会を設け、説明の仕方や分かりやすい伝え方について具体的に支援していく。                                                    |
|    | 家庭学習に関わる事項 | ○宿題をきちんと行う習慣が身についている。学習したことの復習を行っている児童が多い。<br>●家庭学習の時間が少ない傾向がみられる。                                                       | ・学習時間の確保をどのようにしていくか個別に支援し、自分のスケジュールを自ら組み立てる力を育てる。<br>・自分に必要な学習内容・学習方法を選択できるように、自主学習の在り方を個々の実態に応じてアドバイスする。 |
| 6年 | 授業改善に関わる事項 | ○全ての項目において、県の数値を上回った。校内で進めてきた授業改善が、児童の意識向上につながった。<br>○全ての児童が読書が好きだと答えており、学校図書館教育の充実が成果に結びついている。<br>●考えを話したり、説明したりする力の向上。 | ・校内研究・校内研修を通して、引き続き授業改善を図る。<br>・引き続き、ペアやグループ、全体での伝え合う活動を充実させ、質を向上させる。                                     |
|    | 家庭学習に関わる事項 | ○家庭学習(宿題)の習慣は定着している。<br>●家庭学習の時間が不十分である。予習・復習への取組に課題がある。                                                                 | ・引き続き、保護者に家庭学習の取組への啓発を図り、協力を依頼する。<br>・「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習への取組方や課題の量など、学級指導するとともに、必要に応じて個別に細やかな支援を行う。      |

平成31年2月15日

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果



(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

|     |     | 国語 | 算数 |
|-----|-----|----|----|
| 5年生 | 本校  | 62 | 58 |
|     | 松江市 | 63 | 55 |
|     | 島根県 | 63 | 55 |

受検者数  
5年生 18 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。  
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(参考) 平均正答率

|     |     | 国語 | 算数 |
|-----|-----|----|----|
| 6年生 | 本校  | 60 | 59 |
|     | 松江市 | 69 | 60 |
|     | 島根県 | 67 | 59 |

受検者数  
6年生 14 人